

医療費制度について(MSW 版)

静岡県立こども病院地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー 城戸貴史

はじめに

「入院費はどのくらい必要になりますか？」これは、医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)に寄せられる一番多い相談である。日本は国民皆保険制度を達成した国であり、誰でも医療保険に加入できる(ただし、不法滞在、生活保護単独等で医療保険に加入できないケースもある。)が、このような相談は後を絶たない。

今回は、予想できないと思われがちな入院費が実はある程度は予想できることを医療保険制度の基礎と診療報酬制度の概要から説明する。

医療費がいくらかかるか分からない理由

保険診療については国が定める診療報酬点数に規定されている。この中には、医師の診察、入院料、手術、検査、処置、リハビリなどのあらゆる医療行為に対して細かく値段が設定されている。計算方法については一定の専門知識が必要であるが、簡単に言えば、「医療行為が増えれば医療費は上昇する。」ということである。

次に、私たちが加入する医療保険であるが、保険者側が負担する保険負担分と自分で支払う自己負担分に分かれている。健康保険証を医療機関に提示すれば医療行為は保険適用になるが、同時に自己負担分も発生することになる。例えば3割の自己負担の場合、医療費が2,000円であれば600円の自己負担で済むが、医療費が1,000,000円(100万円)になると、300,000円(30万円)という高額な自己負担が発生することになる。

これらの理由により、患者さんは治療が終了するまで「医療費がいくら必要になるのか分からない。」という不安を抱えることになるのである。

高額療養費制度

このいくらかかるか分からない医療費であるが、必ずしも予想できないわけではない。日本の医療保険制度は、医療費を保険負担にする制度に加えて、自己負担が高額になるとその自己負担分を軽減する制度が存在する。これを高額療養費という。医療費の自己負担分が一定以上になると図—1の計算式に当てはめて、自己負担の限度額を計算する。所得が一般の場合は自己負担が80,100円を超えるとこの計算式に当てはめて自己負担限度額が決定することになる。

図—2はその例示である。所得が一般、医療費が100万円である場合、3割の自己負担であれば自己負担が30万円となる。この場合は自己負担分が80,100円を超えると高額療養費に該当する。今回は80,100円に7,330円を加えた87,430円が自己負担の限度額となる。計算式が入ることで若干複雑になっているが、基本的には自己負担分が医療費総額の1%増えることになる。つまり、医療費が300万円でも80,100円に医療費(300万円)の1%である3万円を加えた約11万円が限度額となる。この制度を理解すると、大きな手術など100万円単位で医療費が増大したとしても自己負担の割合は1万円程度の増加になるので、数万円の誤差で医療費は予想できるようになる。

高額療養費の限度額適用認定証について

高額療養費制度には高額療養費、高額療養費貸付、限度額適用認定などいくつかのパターンに分かれている。ここでは通常の「高額療養費」と「限度額適用認定証」について図一2の例示から説明する。通常の高額療養費の場合は、自己負担分の30万円を医療機関に支払う。そして、後日加入している保険者とのやり取りで、87,430円との差額である212,570円の返金を保険者から受ける。それに対して「限度額適用認定証」の場合は、事前に保険者に手続きを行うことで、限度額認定証が保険者より発行される。この限度額適用認定証と健康保険証を医療機関に提出することで、医療機関への支払いは30万円ではなく、自己負担限度額の87,430円になる。ちなみに「入院費」の場合は、それ以外にも食費、病衣、おむつ等の雑費、個室等の室料差額がかかる場合がある。

図一1 高額療養費

70歳未満の自己負担限度額		
対象者	自己負担限度額(月額)	多数該当
上位所得者	150,000円＋(医療費－500,000円)×1%	83,400円
一般	80,100円＋(医療費－267,000円)×1%	44,400円
低所得者	35,400円	24,600円

(診療点数早見表(医学通信社 2012年4月版))

図一2 高額療養費の計算(例示)

Q. 医療費100万円 所得：一般 30%自己負担の場合の自己負担限度額は？ 100万円×30%＝300,000円(自己負担) 高額療養費 自己負担限度額の計算 80,100円＋{(100万円－267,000円)×1%} ＝80,100円＋(73,000円×1%) ＝80,100円＋7,330円＝87,430円(自己負担限度額)
A. 基本は300,000円 最終的には87,430円 300,000円－87,430円＝212,570円

おわりに

医療費の仕組みは複雑であるが、ひも解けば国が責任を持って運用している社会保障制度である。入院、手術が何十万、何百万かかると思っていた患者・家族にこの制度の概要を説明すると「安心して治療に臨める。」と言っていた場合もある。もし、医療費制度やその他の社会保障制度が知りたい方がいれば、気軽に自分が通っている医療機関のMSWに相談して欲しい。

参考文献

診療点数早見表医科 2012年4月版 医学通信社 2012年4月発行

(この原稿は、平成24年11月9日に行われた静岡県医療機関図書室連絡会研修会での内容を基に、ご執筆いただきました。)